



ものづくり溶接加工科

Manufacturing Welding Department

訓練紹介
ページは
こちらから



入所月

標準コース 令和6年6月、9月、令和7年3月

導入講習付きコース 令和6年8月、令和7年2月

訓練募集スケジュールの詳細については、P6をご覧ください。
「導入講習付きコース」の詳細については、P10をご覧ください。

費用の目安

テキスト代等
13,000円程度

受験可能な資格

訓練期間中に 取得

- アーク溶接特別教育
- 自由研削といし特別教育
- 産業用ロボット(教示)特別教育
- 粉じん作業特別教育
- ガス溶接技能講習(香川労働局長登録教育機関 香登登録第5号 登録有効期間満了日 令和6年3月30日) ※令和6年3月更新予定

任意で 受験可能

- JIS「被覆アーク溶接」検定(基本級・専門級)
- JIS「炭酸ガスアーク溶接」検定(基本級・専門級)
- JIS「TIG溶接」検定(基本級・専門級)

就職先の イメージ

- 船舶製造・修理業、船舶用機関製造業
- 特殊車両・運搬車両製造(溶接作業・組立作業)
- 各種輸送設備の設計、製作(溶接作業・製缶作業)
- 機械部品の製造、修理(溶接作業)
- 建設・建築業(溶接作業・板金作業)

修了者の声

今までに触れたことのない「ものづくり」の溶接についての専門的知識や技能を学べたことがとても良かったです。指導員の方々や受講者とアットホームな雰囲気を築きながら訓練を受講することができました。

「何も知らないで入社した人と比べて、すぐに溶接ができたのは会社にとって大きなメリットだった。」と言われました。そのときに「センターで勉強してよかった。」と改めて実感しました。

採用企業の声

修了生は、訓練の中で基本をしっかりと身につけ、ものづくりをやりたいという気構えをもって入社して来ますので、人材育成の面で非常に助かっています。


訓練内容

建設産業・電気産業・自動車産業など、幅広く日本の基盤産業を支える溶接・精密板金技術を基礎から習得し、【ものづくり】の世界への再就職につながります。

金属加工基本作業 期間 ▶ 4週間


【ものづくり】に必要な機器、器工具の使い方とガス技能講習、安全教育を習得します。

- ★各種手工具類の取扱いができる
- ★ガス切断ができる
- ★グラインダー作業ができる
- ★安全衛生作業ができる



炭酸ガスアーク溶接作業 期間 ▶ 8週間

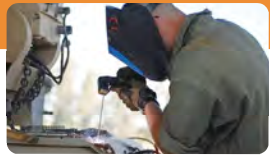
屋内の溶接では、最も多く使用されている溶接法で、一般的には半自動溶接とも呼ばれます。この溶接の技能と関連知識を習得します。また、産業用ロボットの教示作業及びロボット溶接作業について習得します。



被覆アーク溶接作業 期間 ▶ 4週間

最も古くから使用されている溶接法で、屋内・屋外で使用できます。この溶接の技能と関連知識を習得します。


- ★被覆アーク溶接装置の取扱いができる
- ★下向き溶接ができる
- ★立て向き溶接ができる
- ★JIS検定基本級・専門級レベルの技能が習得できる



TIG溶接作業 期間 ▶ 4週間

ステンレス鋼、アルミニウム合金などの金属の溶接に使用される溶接法で、アルゴン溶接とも呼ばれます。この溶接の技能と関連知識を習得します。


- ★TIG溶接装置の取扱いができる
- ★ステンレス鋼の溶接ができる
- ★下向き溶接ができる
- ★立て向き溶接ができる
- ★JIS検定基本級・専門級レベルの技能が習得できる



精密板金CAD作業 期間 ▶ 4週間

薄板の加工作業に関する専門的な技能及び関連知識を習得します。

- ★展開図が描ける
- ★図面に従い切断及び加工ができる
- ★レーザー加工および各種曲げ加工ができる
- ★CAD(Solidworks)の基本操作ができる



ものづくり
溶接加工科

機械・CAD
オペレーション科

電気設備
エンジニアリング科

ICT
システム科

ビル管理技術科